

(2) 三重県男女共同参画審議会による評価

進捗に関する評価

(男女共同参画を阻害する暴力等への取組)

相談機会、意識普及機会の増加がはかられていることは、一定評価できる。

- ・ 女性相談所等における相談件数は、平成 13 年度 754 件、平成 14 年度 1,769 件と増加している。このことは、DV が犯罪であるという意識の普及や適切な対応などによる成果であると考えられる。
- ・ 各県民局に婦人相談員が配置されるなど、身近で気軽に相談できる体制が整備されつつある。
- ・ 生活創造圏単位で DV 防止に関する連携組織の設置が進められているが、毎年 3 か所に設置していくという目標を上回り、2002 年度に 6 か所で設置された。

(生涯を通じた男女の健康と生活の支援)

健康づくりについて進展がみられ、一定の評価ができる。

- ・ ヘルシーピープルみえ・21 により 93 の数値目標を設定し、進捗管理を行いながら、県民の健康づくり支援を進めている。
- ・ 三重県の特徴として、治療だけでなく不妊に悩む人を心理的にサポートする機能を重視することとして、不妊専門相談センターを平成 15 年 10 月に開設するべく、準備が進められている。

取組の結果生じた課題

(男女共同参画を阻害する暴力等への取組)

- a 相談機会が一定確保されたが、未だ十分とは言えない。
 - ・ 平成 12 年に実施された男女共同参画に関する意識と生活実態調査（三重県）では、「命の危険を感じるくらいの暴行を受けた」と答えた人が 2.2%あることなどを勘案すると、まだまだ被害者が潜在していることが窺える。
- b 相談機能が質の面で充実されたとは言いがたい。
 - 1) DV 被害者への理解や DV 発生につながる要因に関する情報提供が不十分である。
 - 2) DV 被害者の自立に向けた支援が十分ではない。
 - 3) DV 加害者に対する働きかけが十分には行われていない。
- c 各種相談が縦割りで行われており、横の連携が不十分である。

(生涯を通じた男女の健康と生活の支援)

- d 性別に基づく生涯を通じた健康支援体制とはなっていない。

三重県も同様の状況であると想定できるものは、一部全国データを記載しています。

- e 不妊相談の需要を見極めた上で、相談員の配置等において充実をはかっていくことが必要である。

時代変化を受けての新たな課題

(男女共同参画を阻害する暴力等への取組)

- f DV と児童虐待の関係が明らかになりつつある。
- ・ 例えば、内閣府が平成 14 年に実施した配偶者等からの暴力に関する調査によると、加害経験がある人は加害経験がない人よりも子どもの頃に「親から身体に関する暴行を受けた」ことがあると答えた人が多いという結果となっている。

(生涯を通じた男女の健康と生活の支援)

- g 男女の固定的役割分担意識とそれに基づく社会的慣行は、男性の生活にも歪みを生み出している。
- ・ 時代変化とともにその歪みが増大して、正常な生活を営む余裕をなくす男性が増えた。
- 1) 自殺者数が交通事故死者数の約 2 倍となるなど近年増加している。特に 40 代・50 代の男性の自殺は顕著な増加を示しており、自殺者数の 32.7% (H14 警察庁資料：全国) を占めている。また、ここ数年は経済生活問題を理由とするものが増加している。
 - 2) 引きこもりに占める男性の割合は 76.4% (H14 厚生労働省調査：全国) である。
- h 家族形態の変化に対応したサービスが十分でない。
- ・ ひとり親世帯が平成 7 年から平成 12 年の 5 年間に 21.4% 増加している (国勢調査：三重県) が、父子家庭には公的な経済的支援が弱い。

今後の施策についての提言

(男女共同参画を阻害する暴力等への取組)

- a 潜在している DV 被害者の実態把握を行う。アプローチ方法や実施したサービスに対する満足度についての調査を検討する。また、相談体制や窓口の周知方法などについて検討する。
- b - 1) DV 被害者を支えるしくみづくりにつながる意識の普及に努める。
- b - 2) 相談員の資質向上、専門機関の役割分担の明確化、連携の強化などにより質の高いサービス提供に努める。また、民間シェルターの設置等に対する支援について検討する。

三重県も同様の状況であると想定できるものは、一部全国データを記載しています。

b - 3) DV 加害者の理解や暴力の原因等の解明と並行して、加害者のための学習プログラム (DV が犯罪であるという意識、暴力によらないコミュニケーション等) の導入について検討する。

c 相談機関の連携強化をはかるとともに、最適専門機関への適切な紹介等が可能となるよう、各種相談機関の窓口機能を強化する。

f 現在、別々に行っている DV・児童虐待への関わりについて、総合的に実施することを検討する。

(生涯を通じた男女の健康と生活の支援)

d 生涯を通じた健康管理に向け、他県等で実施されている取組を参考にしながら、トータルな健康管理システムの構築を検討する。

e 本年度から実施している不妊専門相談についてニーズ等の分析を行い、必要な部分を充実させる。

g - 1)・2) 自殺や引きこもりについて、三重県における状況や原因の把握を行う。

h 三重県における父子家庭の実態及び公的な提供サービスについて把握を行う。